

真校だより第114号 令和6年9月号

【回覧】

ふきのとう

真室川校生徒会役員選挙～生徒会の引継ぎが行われました～



9月11日(水)の5・6校時に生徒会役員選挙立ち会い演説会と選挙が実施され、令和6年度後期新生徒会執行部が組織されました。そして、9月19日(木)の放課後には、3年生を中心とする前期執行部と1・2年生を中心とする後期執行部の間で業務の引継ぎがなされ、新生徒会執行部にバトンが渡されました。前期生徒会長の佐藤颯斗君からは、一緒に励まし合い、支え合ってきた生徒会の仲間たちへの感謝の気持ちが語られ、後期生徒会長の富樫凜さんからは、より一層学年の壁を越えて一致団結できる生徒会を創っていく決意が語られました。前期生徒会執行部のみなさん、これまで本当にお疲れ様でした。君たちが諸行事で活躍する姿は本当に頼もしかったです。後期生徒会執行部のみなさんも、様々な経験を積み重ねながら、諸先輩の伝統を引き継ぎつつ、新風を吹かせてください。

【令和6年度後期生徒会役員】

会長	富樫 凜	/	副会長	沓澤美桜
議長	栗田愛梨	/	副議長	阿部幸翔
事務局長	庄司悠斗	/	応援団長	加藤太一
書記	植木健吾		中川和輝	山田翔太

生徒会企画「合同LHR」

9月20日(金)の6校時に、全学年合同のLHRが開催されました。結成されたばかりの新しい生徒会執行部が初めて企画して運営する行事です。今回の活動は「フルーツバスケット」。楽しみながら全校生徒が結束力を高められるようにすることを目標に、新生徒会執行部が企画しました。

当日は、はじめに新執行部がステージ上で実際に身体を動かしてお手本を示しながらルールの説明を行いました。そして、みんながルールを理解したところで、いざ本番です。

始まってしまえば、みんな終始笑顔で楽しそうに取り組んでいました。いつも以上に生き生きと輝く生徒たちの笑顔が見られた和やかなひとときでした。



最北地区高等学校新人大会～バドミントン部の4名が参加～

9月5日(木)に最北地区高等学校新人大会の壮行式を開催しました。今回、真室川校からはバドミントン部の4名が地区新人大会に臨むということで、まず、副校長から「新人大会は、新体制移行後の約3ヶ月間に自分たちが積み重ねた練習の成果を試し合う大会。試合の結果はどうあれ、自分たちが今後どのような力を身につけていくべきかを見いだす良いきっかけになるはず。とにかく、今身につけている力の全てを出し切れるようにして来てください。」という激励の言葉が送られました。続いて、応援団の初々しくも力強いエールが送られ、バドミントン部の3年生たちからも、心温まる応援メッセージが届けられました。

全校生徒の応援を受けて送り出されたバドミントン部は、9月14日(土)15日(日)に新庄市体育館にて、個人戦に臨みました。男子ダブルスには加藤・佐藤組が、男子シングルスには加藤太一君と佐藤光希君が、女子シングルスには佐藤愛梨さんがそれぞれ出場しました。ファイナルゲームまでもつれる惜しい試合もありましたが、結果はすべて初戦敗退。選手諸君には、この結果をしっかりと受け止め、一層奮起してくれることを期待します。頑張れ。真校生！



ダンス発表会～キラリと光る個性たち～



学校HP
ご覧ください

9月13日(金)の3・4校時に体育の授業で練習してきたダンスの成果発表会が開催され、生徒たちはそれぞれの個性をキラリ！と輝かせました。参観して頂いた地域の皆様からも「素晴らしい！高校生に元気をもらいました。」と絶賛して頂きました。

花いっぱいボランティア

9月2日(月)の放課後に真校生有志で町民体育館周辺にフラワーポットを設置する緑化推進活動に取り組みました。この活動を実施するに当たっては、「令和6年度緑の募金事業」の交付金を活用させて頂きました。生徒たちは、様々な作業をそれぞれ分担して協力しながら作業を進めました。1年生から3年生まで、学年を越えて親睦を深めながら、学校周辺の景観を華やかにもできる有意義な活動でした。



いのちの教室(防災)

9月6日(金)の午後に、ウェザーハート災害福祉事務所の千川原公彦氏を講師にお迎えして防災に関するいのちの教室を開催しました。この事業には地域きずな授業の一環として、地域の方々にも参加して頂き、生徒と一緒に避難所生活における様々な課題を克服するためのアイデアを出し合うグループワークに参加して頂きました。地域の方々を前にして、生徒たちはいつも以上に主体的に意見を出し合うことができていました。

